

第4回和光ブランド認定推進委員会
会議録（要旨）

日時 平成27年2月20日（金）

9：00～11：50

場所 和光市役所6階 602会議室

出席 委員（◎委員長、○副委員長）

◎第1号委員	郭 洋春	委員	（立教大学 経済学部長・教授）
○ 〃	政所 利子	委員	（㈱玄 代表取締役）
第2号委員	池田 正	委員	（㈱池田物産 代表取締役）
第3号委員	池田 作治	委員	（あさか野農業協同組合）
○第4号委員	吉澤 茂	委員	（㈱スカイ・テクノ 代表取締役）
第5号委員	安田 栄子	委員	（ラマンドール㈱ 代表取締役）
第6号委員	梅沢 直	委員	（市民公募）
〃	齋藤 万理子	委員	（市民公募）

事務局

産業支援課長	川辺 聡
産業支援課課長補佐	遠藤 秀和
産業支援課主事	原口 真由美

和光ブランド開発等経営支援事業受託業者

㈱中野技術	清水 巧
〃	固本 徹

傍聴 0人

司会進行 産業支援課長 川辺 聡

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 認定審査方法について

(2) 認定審査会について

- ・ 9：20～ A社
- ・ 9：50～ B社
- ・ 10：20～ C社
- ・ 10：50～ D社

4 報告

- ・ 和光ブランド戦略（案）について

5 その他

6 閉会

【議事内容】

3 議事

(1) 認定審査方法について

事務局説明

- ・ 審査の流れについて、申請者の方から最大10分間認定申請書に記載のある商品の特性（和光らしさ、独自性・優位性、信頼性・安全性、市場性・将来性、その他セールスポイント）について説明をして頂いた後、質疑応答を5分間行う。その後評価表の記入を行う。
- ・ 認定基準の見直しについて
 - ① 和光らしさの部分で商品説明又はサービスを通じて和光への愛着または郷土愛が生まれる可能性がある。を追加した。
 - ② 独自性・優位性の部分で特許、実用新案、意匠登録、商標登録等の知的財産権を取得し、又は出願しているか。を削除した。
 - ③ 信頼性・安全性の部分で（受賞歴、認定等）を削除し、（食品においては商品の消費期限等の明確な根拠等）及び（農産物においては低農薬又は有機野菜であること。食品においては食品添加物を使用していないこと、又は成分規格及び表示基準の法令を遵守していること。）を追加した。
 - ④ 市場性・信頼性の部分でブランド申請をすることにより、誘客効果が見込まれるか。を削除し、和光市に対するイメージ向上への貢献が期待できる。を追加した。

⑤ その他セールスポイントを追加した。

審査項目が11項目から13項目になり合格の基準の見直しを行いました。現在の合格基準は55点中40点（約70%）が合格の基準でしたが、今回の審査分からは65点中45点（約70%）を合格の基準点とします。

(2) 認定審査会

① 9：20～ A社

(申請者説明) 申請書のとおり

(質疑応答)

(評価)

(集計・報告) 審査結果（65点満点／合格基準45点）

審査平均点 45.3点《認定》

資料：和光ブランド認定申請書、認定申請評価表

② 9：50～ B社

(申請者説明) 申請書のとおり

(質疑応答)

(評価)

(集計・報告) 審査結果（65点満点／合格基準45点）

審査平均点 53.3《認定》

資料：和光ブランド認定申請書、認定申請評価表

③ 10：20～ C社

(申請者説明) 申請書のとおり

(質疑応答)

(評価)

(集計・報告) 審査結果（65点満点／合格基準45点）

審査平均点 57.3《認定》

資料：和光ブランド認定申請書、認定申請評価表

④ 10:50～ D社

(申請者説明) 申請書のとおり

(質疑応答)

(評価)

(集計・報告) 審査結果 (65点満点/合格基準45点)

審査平均点 48.0 ≪認定≫

資料：和光ブランド認定申請書、認定申請評価表

4 報告

- ・ 和光ブランド戦略(案)について
中野技術説明
- ・ 和光ブランド開発等経営支援事業の活動内容について
中野技術説明

5 その他

次回の委員会の日程について

平成27年5月(予定)